



竹富町球技大会 ソフトバレーボール競技規則

第1条 適用規則

大会当日の6人制バレーボール競技規則を適用する。ただし、以下に定める特別規則を優先して適用する。

第2条 コート

- (1) コートはバドミントンコートの外側ラインを使用する。
- (2) ネットの高さは2メートルとする。

第3条 チーム編成

- (1) 4人制とし、登録は10名までとする。
- (2) 登録が10名未満の場合は、少ない方の人数に合わせたローテーションも可とする。
- (3) ユニフォームを統一すること。
- (4) 体育館シューズを着用すること。裸足での出場は認めない。

第4条 試合形式

- (1) 試合は予選リーグ・決勝トーナメントとする。
- (2) 3セットマッチとし、2セットを先取したチームの勝利とする。

第5条 得点・セット

- (1) 得点はラリーポイント制とする。
- (2) 各セットは13点先取で勝利とする。
- (3) 12対12になった場合はデュースになり、その後2点勝ち越したチームがセットの勝者となる。
- (4) ただし、得点は最高15点で打ち切りとし、1点差であっても15点を先取したチームが勝者となる。

第6条 サービス

- (1) サービスはアンダーハンドサーブとする。
- (2) サービスは1回のみとし、やり直しは認めない。
- (3) サービスがネットに触れた場合はサービス失敗となり、相手の得点となる。
- (4) サービスを打つ瞬間までは、両チームの競技者は定められたポジションに位置していなければならない。サービス後はフリーポジションとなる。

第7条 ローテーション・コート内配置

- (1) 10名ローテーションを適用する。
- (2) ローテーションによりコートに入る場合は、バックライト（サービス）ポジションから入るものとする。
- (3) サービスはバックライトの位置にいる競技者が行う。
- (4) コートチェンジの際は、ローテーションは前回の続きから行う。
- (5) サービス前のコート内における4名の配置は、正方形とする。ネット側にフロントレフト・フロントライトの2名、サービス側にバックレフト・バックライトの2名が位置し、各選手が均等な間隔で正方形を形成すること。なお、バックライトの選手がサービスを行う。

(6) フリーポジションへの移行は、サービスを行う競技者がボールに触れた時点とする。

第8条 プレールール

- (1) ボールは3回以内で相手コートに返すこと。
- (2) 相手のサービスを1回の打球で相手コートに返してはいけない。ただし、ラリー中のプレーにおいては1回で返しても問題ない。
- (3) ブロックによるボールの接触は打球回数に数えない。

第9条 コートチェンジ・サービス権

- (1) コートはセットごとに交換する。
- (2) 第2セット開始のサービスは、第1セット開始時にサービスを行わなかったチームが行う。
- (3) 第3セットは、再度じゃんけんにてサービスかコートを選択する。
- (4) 第3セットは、いずれかのチームが7点を先取した時点でコートチェンジを行う。このときサービス権は移行しない。

第10条 じゃんけん

- (1) ゲーム前に代表者でじゃんけんを行い、勝ったチームがサービスかコートのいずれかを選択する。

第11条 タイムアウト・給水タイム

- (1) タイムアウトは各セットにおいて、各チーム1回ずつ取得できる。
- (2) 熱中症防止のため、各セットいずれかのチームが7点を先取した時点で30秒の給水タイムを設ける。
- (3) 第3セットにおいては、7点先取時にコートチェンジを行うため、コートチェンジ後に給水タイムを設ける。

第12条 予選ブロック順位決定方式

予選ブロックの順位は、以下の順で決定する。

- ①勝利数(多い方が上位) ②セット率(総得セット÷総失セット) ③得点率(総得点÷総失点)

第13条 その他

ルール変更・中止・勝敗その他については、審判長および大会役員の協議で決定する。

第14条 大会役員・審判配置

大会の円滑な運営のため、各試合において以下のとおり役員および審判を配置する。

- (1) 主審
 - ・竹富町ママさんバレーボール協会が担当する。
- (2) 副審および得点板
 - ・町職員が担当する。各コートにつき2名以上3名以内を配置する。
- (3) 線審
 - ・各公民館の割り当てにより担当する。
 - ただし、準決勝は予選リーグ敗退チームが担当し、決勝は町職員が担当する。
- (4) 本部(スコア記録・アナウンス)
 - ・町職員1名以上を配置し、スコアの記録および場内アナウンスを担当する。